

1. 査読論文

- 1) 奥村浩気, 岸本直之, 一瀬諭, 馬場大哉, 田中仁志, 2014, 琵琶湖北湖東岸における湖岸形状と泥質化の関係, 水環境学会誌, vol. 37, p. 45-53. (謝辞あり)
- 2) 木持謙, 田中仁志, XU Kai - Qin, 稲森隆平, 稲森悠平, 2014, 迅速な溶存態ガス採取法を用いた湖沼等の N₂O, CH₄ 生成・放出ポテンシャルの評価, 日本水処理生物学会誌, Vol. 50, No. 3, Page. 121-131 (謝辞あり)
- 3) Naoyuki Kishimoto, Chihiro Yamamoto, Kei Suzuki, Satoshi Ichise, 2014, Does a decrease in chlorophyll a concentration in Lake Biwa mean a decrease in primary productivity by phytoplankton, 2015, Journal of Water and Environment Technology, vol. 13, p. 1-14. (謝辞あり)
- 4) K. TAKEMOTO, D. BAMBA, M. OGAWA, T. OHTA, 2016, XANES Spectroscopy for Determining the Chemical States of Sulfur Species in the Sediment of Lake Biwa, 2016, Journal of Water and Environment Technology, 14(2), p. 82-89 (謝辞あり)
- 5) 古田世子, 一瀬諭, 馬場大哉, 岸本直之, 2017, 琵琶湖沿岸帯における底泥環境の評価, 2017, 日本水処理生物学会誌, Vol. 53, No. 1, Page. 23-32 (謝辞あり)
- 6) Naoyuki Kishimoto, Satoshi Ichise, Kei Suzuki, Chihiro Yamamoto, 2013, Analysis of long-term variation in phytoplankton biovolume in the northern basin of Lake Biwa, Limnology, vol. 14, p. 117-128. (謝辞記載あり)
- 7) Kei Suzuki, Makoto Kojima, Naoyuki Kishimoto, Satoshi Ichise, Seiko Furuta, 2013, Influence of cultural conditions on the cellular biovolume and gelatinous sheath volume of *Staurastrum arcticon* (Charophyceae), Journal of Water and Environment Technology, vol. 11, p. 49-58. (謝辞記載あり) 代表論文

2. 総説・解説

- 1) 一瀬諭, 琵琶湖の水環境の現状と沿岸帯の機能評価に向けて 特集/閉鎖性水域の環境保全の新たな視点, 2014, 用水と廃水, 55. p. 54-61. (謝辞あり)
- 2) 一瀬諭, 里湖(さとうみ)作りと沿岸帯の機能を考えよう, 2014, 用水と廃水, 56 (8)
- 3) Naoyuki Kishimoto, Satoshi Ichise, Water quality problems in Japanese lakes: a brief overview, Understanding Freshwater Quality Problems in a Changing World 2014, (Editor: Berit Arheimer) (IAHS Publication 361: IAHS Press), p. 132-141. (謝辞あり)
- 4) 岸本直之, 琵琶湖の現状と課題, 2016, 用水と排水, vol. 58, p. 49-54. (謝辞あり)

3. 学会等口頭発表

- 1) 琵琶湖における沿岸帯の機能評価—マイクロセンサーによる底泥直上・直下の溶存酸素分布測定結果—, 馬場大哉, 郡司房子, 古田世子, 一瀬諭他, 日本水環境学会, 2014年3月, 宮城
- 2) 沿岸帯の機能評価—琵琶湖底泥からの動・植物プランクトンの回帰試験結果—, 一瀬諭, 古田世子, 永田貴丸, 藤原直樹, 廣瀬佳則, 馬場大哉, 西村修, 日本水環境学会, 2014年3月, 宮城
- 3) 琵琶湖沿岸帯の底質性状が溶存酸素消費に与える影響の評価, 奥村浩気, 岸本直之, 一瀬諭, 馬場大哉, 田中仁志, 日本水環境学会, 2014年3月, 宮城

- 4) 琵琶湖における沿岸帯の機能評価 –底質の保存条件と藻類シードバンク機能について–, 古田世子, 廣瀬佳則, 一瀬諭他, 日本水環境学会, 2014年3月, 宮城
- 5) 湖沼の有機汚濁負荷源としての小型シアノバクテリアの重要性, 岸本直之, 山本千尋, 鈴木恵, 一瀬諭, 日本陸水学会, 2014年9月, 茨城
- 6) 湖沼水質形成における沿岸帯の機能とその影響因子の評価, 一瀬諭, 古田世子, 藤原直樹, 第41回全国環境保全・公害防止研究発表会, 全国環境研協議会, 2014年12月, 兵庫
- 7) Naoyuki Kishimoto, Chihiro Yamamoto, Kei Suzuki, Satoshi Ichise, Does a decrease in chlorophyll a concentration in Lake Biwa mean a decrease in primary productivity by phytoplankton, Water and Environment Technology Conference, 2014,
- 8) XANESによる琵琶湖の底質環境評価の試み, 馬場大哉, 竹本邦子, 文部科学省先端研究基盤共用・プラットフォーム形成事業, 合同シンポジウム, 2014, 神奈川
- 9) 低照度環境下における *Phormidium tenue* の増殖生理特性の評価, 小野隆行, 岸本直之, 古田世子, 一瀬諭, 日本水環境学会, 2015年3月, 金沢
- 10) Kuniko TAKEMOTO, Daiya BAMB, Masahiro OGAWA, and Toshiaki OHTA, 2015, Sulfur K-edge XANES Spectroscopy as a Method for Estimating Redox State of Sediment in Lake Biwa Water and Environment Technology Conference 2015, Aug., Tokyo
- 11) 琵琶湖における里湖作りと沿岸帯の機能評価, 一瀬諭, 井上栄壮, 藤原直樹, 古田世子, 第42回全国環境保全・公害防止研究発表会, 全国環境研協議会, 2015年12月, 東京
- 12) 藻類シードバンクからみた琵琶湖の沿岸帯機能, 古田世子, 一瀬諭, 第42回全国環境保全・公害防止研究発表会, 全国環境研協議会, 2015年12月, 東京,
- 13) 「今、琵琶湖で何が！水質の長期変動とプランクトンの変遷」, 一瀬諭, 日本陸水学会第80回大会公開シンポジウム招待講演, 2015年9月, 北海道
- 14) 琵琶湖沿岸域における底泥の評価について, 古田世子, 一瀬諭, 第19回日本水環境学会シンポジウム, 2016年9月, 滋賀
- 15) 琵琶湖における市民協働による水辺空間修復への取り組み, 一瀬諭, 井上栄壮, 池田将平, 中村光穂, 古田世子, 第43回全国環境保全・公害防止研究発表会, 全国環境研協議会, 2016年11月, 山形
- 16) 琵琶湖沿岸域における底泥の評価について, 古田世子, 一瀬諭, 第43回全国環境保全・公害防止研究発表会, 全国環境研協議会, 2016年11月, 山形
- 17) 琵琶湖南湖沿岸域の砂質地点・泥質地点における底生動物相の比較, 井上栄壮, 一瀬諭, 古田世子, 藤原直樹, 池田将平, 日本水環境学会, 2016年3月, 徳島
- 18) *Phormidium tenue* の増殖に及ぼす琵琶湖南湖底泥抽出液の影響, 小野隆行, 岸本直之, 古田世子, 一瀬諭, 日本水環境学会, 2016年3月, 徳島
- 19) 「琵琶湖水質とプランクトンおよび沿岸帯機能評価」, 一瀬諭, 平成28年度環境省課題分析研修会, 環境省環境調査研修所, 2016年6月, 埼玉
- 20) K. TAKEMOTO, D. BAMB, M. OGAWA, T. OHTA, 2016, XANES spectroscopy for estimating high-hypoxic conditions in sediment of Lake Biwa, The 26th Goldschmidt Conference (Goldschmidt2016), Yokohama

4. 招待講演

- 1) 一瀬諭, 「琵琶湖の水質とプランクトンの関係について」地域の歴史と琵琶湖, びわこ成蹊スポーツ大学特別講演, 2014年5月, 謝辞入り
- 2) 一瀬諭, 「琵琶湖水質とプランクトンおよび沿岸帯機能評価」, 平成26年度、環境省課題分析研修プランクトン講演(環境省環境調査研修所:所沢), 2014年6月, 謝辞入り
- 3) 一瀬諭, 「琵琶湖水質と食物連鎖の原動力プランクトンを観てみよう」, 子供が遊べる川作りプロジェクト, 平成26年度大津市民環境塾招待講演(大津環境フォーラム), 2014年8月, 謝辞入り
- 4) 一瀬諭, 「琵琶湖南湖のプランクトンと魚介類の移り変わり」, 平成26年度大津環境フォーラム招待講演(大津市びわ湖館), 2014年8月, 謝辞入り
- 5) 一瀬諭, 「琵琶湖の環境生態の現状と浄化対策の取り組みの方向性」, 平成26年度日本水環境学会招待講演, 2014年9月, 謝辞入り
- 6) 一瀬諭, 「シジミの餌(プランクトン)と琵琶湖水質の移り変わり」, 第27回山川海セミナー, 招待講演(京都東別院会館), 2014年10月, 謝辞入り
- 7) 一瀬諭, 「琵琶湖のプランクトンと沿岸帯機能のあり方について」, 平成26年度大津市公共下水道地元対策委員会招待講演(大津市), 2015年2月, 謝辞入り
- 8) 一瀬諭, 「琵琶湖の水質とプランクトンの関係について」, びわこ成蹊スポーツ大学特別講演, 2015年4月, 謝辞入り
- 9) 一瀬諭, 「水環境にかかわる調査研究」, 平成27年度スーパーサイエンスハイスクール講演(立命館守山高校:滋賀県), 2015年5月, 謝辞入り
- 10) 一瀬諭, 「琵琶湖水質とプランクトンおよび沿岸帯機能評価」, 平成27年度、環境省課題分析研修プランクトン講演(環境省環境調査研修所:所沢), 2015年7月, 謝辞入り
- 11) 一瀬諭, 「今、琵琶湖で何が!水質の長期変動とプランクトンの変遷」, 日本陸水学会第80回大会公開シンポジウム招待講演(函館)2015年9月, 謝辞入り
- 12) 一瀬諭, 「びわ湖のプランクトンの変動と水産魚介類への影響について」, 平成27年度、滋賀の理科教材研究委員会招待講演(守山野洲市民交流プラザ:守山市), 2015年10月, 謝辞入り
- 13) 岸本直之, 「琵琶湖のCODとBODの乖離現象について」, 平成27年度分析分科会年会(産業技術連携推進会議講演), 2015年12月
- 14) 一瀬諭, 「琵琶湖水質とプランクトンおよび沿岸帯機能評価」, 平成28年度、環境省課題分析研修プランクトン講演(環境省環境調査研修所:所沢), 2016年6月, 謝辞入り
- 15) 一瀬諭, 「琵琶湖の水質とプランクトンの関係について」, びわこ成蹊スポーツ大学特別講演, 2016年6月, 謝辞入り
- 16) 一瀬諭, 「早崎ビオトープとプランクトン」, 早崎内湖再生保全協議会特別講演(長浜市野鳥センター), 2016年7月, 謝辞入り
- 17) 一瀬諭, 「琵琶湖における植物プランクトンの長期変動と生態影響」, 日本水産学会水産環境保全委員会招待講演, 2016年9月, 謝辞入り
- 18) 岸本直之, 「琵琶湖の水環境の状況と水質保全上の課題」, 2016年度放送大学セミナー, 2016年10月, 謝辞入り
- 19) 一瀬諭, 「水質汚濁評価からの脱却, 水質の長期変動とプランクトン相の変遷」, 滋賀県計量協会環境計量証明部会研修会招待講演(琵琶湖環境科学研究センター大会議室:近畿地区), 2016年10月, 謝辞入り
- 20) 一瀬諭, 「琵琶湖のプランクトンの変遷と水質の現状と課題について」, 琵琶湖淀川

水質汚濁連絡協議会研修会（琵琶湖環境科学研究センター大会議室：大阪市），2016年10月，謝辞入り

- 21) 一瀬諭，「餌資源から見たシジミ復活にかける夢」，平成28年度第12回河川を愛する市民会議講演（ウォーターステーション琵琶：大津市），2016年11月，謝辞入り
- 22) 一瀬諭，「琵琶湖の水質やプランクトンの現状および琵琶湖の抱える問題について」，平成28年度猪名川水質協議会定期研修会講演（琵琶湖環境科学研究センター大会議室：豊中市），2016年12月，謝辞入り

5. 受賞

- 1) 日本水環境学会年間優秀論文賞（メタウォーター賞），2013年11月
- 2) WET Excellent Research Award, 2014年6月

6. その他

- 1) 琵琶湖におけるプランクトンの長期変動：海と湖の貧栄養化問題-水清ければ魚棲まず-第2章 COLUMN, 地人書館、2015年
- 2) 琵琶湖における難分解性有機物生成に及ぼす植物プランクトンの影響：八郎湖流域管理研究、秋田県立大学、2014年